

# 【コンテンツ管理基盤】 情報の共有・活用に関するユーザー調査

2008年5月

---

株式会社野村総合研究所  
基盤ソリューション事業本部



2010年、  
日本の未来を提案します。

# 調査概要

調査目的	コンテンツ管理基盤の市場実態・ニーズを把握する
調査主体	株式会社日経BPコンサルティング
調査実施期間	2007年10月16日～30日
調査方法	Web調査
調査対象者	日経BPコンサルティングの調査モニターのうち、従業員500人以上の企業に勤務している情報システム部門、経営全般・経営企画部門、その他ユーザー部門所属者のうち、合計4,000人を無作為抽出
回収数	総回収数:673件、有効回収数:558件
無効票	調査時点で、非就業者、情報処理サービス/ソフトウェア開発/コンサルティング、ソフトウェアベンダーの勤務者は無効票とした
回答者の 勤務先業種	製造業(コンピュータ関連製品)6.3%、製造業(その他の製品)47.7%、商社・卸売・小売業9.0%、金融・証券・保険業7.2%、建設・土木・不動産5.7%、運輸・倉庫2.9%、通信サービス5.4%、その他サービス業6.5%、学校・研究/教育機関1.6%、病院・医療機関0.9%、官公庁など公共機関・団体4.5%、その他の業種・産業2.5%

# 著作権について／お問い合わせ先

- ◆ 本レポートの著作権は、株式会社野村総合研究所、および調査主体である日経BPコンサルティングが保有します。
- ◆ 内容の一部を転載・引用される場合は、出所として弊社名および調査名称「情報の共有・活用に関する調査」を併記してください。  
尚、転載・引用の際には、下記の連絡先までご一報ください。
- ◆ データの一部または全部を改変すること、本レポートを販売・出版すること、出所を明記せずに転載・引用を行うことは禁止いたします。

## 【この調査に関するお問い合わせ】

株式会社野村総合研究所

基盤ソリューション事業本部

Tel:03-6267-9100

Email:granarch\_info@nri.co.jp

今回の調査結果を、

1. 勤務先のITの現状とコンテンツ管理が進む背景
2. コンテンツ管理の現状と課題
3. コンテンツ関連製品の活用の課題
4. コンテンツ関連製品の導入状況／今後の導入意向

の4つの角度から検証しました。

### 1. 勤務先のITの現状とコンテンツ管理が進む背景

ITの重点テーマや関心のあるITのテーマは、「セキュリティ対策の強化」、「内部統制／コンプライアンス」が上位に。「情報の効率的な共有・活用」も企業規模を問わず上位に挙がる。ただし、「コンテンツ・マネジメント」や「企業内ブログ／SNS」、「ECM」などのキーワードの力は弱い。

コンテンツ管理が進む背景も、外部要因として「内部統制／コンプライアンスの強化」が、内部要因として「情報漏えい対策」が上位に挙がる。「内部統制」、「セキュリティ」の2項目がコンテンツ関連製品の訴求ポイントとなるだろう。

## 2. コンテンツ管理の現状と課題

「社内規定・マニュアル」「会議打合せ議事録」の共有が進んでいる一方で、「新規ビジネスのアイデア」や「業務上の成功・失敗事例」は共有が進んでいない。社内サイトにも左記2項目は掲示されていないケースが多いが、情報の掲示ニーズは大きい。また、グループウェアや文書管理ツールなどのコンテンツ関連製品を多く導入している企業ほど、各種コンテンツの情報共有は進んでいる。

情報収集行動は、「インターネット検索」が圧倒的。社内の“コンテンツ”よりも“人”に聞いた方が役立つという状況。コンテンツ関連製品を多く導入している回答者でも、ハズレだと感じる行動に「社内の電子文書を検索する」が「社内のファイリングされた紙文書を見る」の次に挙がり、社内のコンテンツに対する評価は低い。

コンテンツ作成・利用・管理における課題は、「情報の検索・収集作業の効率化」がトップ。情報システム関与者は「バージョン管理」を、ユーザーは「情報漏えい対策」についてそれぞれ課題意識が強い。

### 3. コンテンツ関連製品の活用の課題

コンテンツ関連製品活用に課題を感じている回答者が多く、コンテンツ関連製品を数多く導入しているにもかかわらず、社内コンテンツを有効活用しているとは言えない状況が伺える。

- ① 社員への運用・浸透サポート
- ② ユーザビリティの向上
- ③ 他システムとの連携機能の強化
- ④ 検索精度の向上
- ⑤ 経営層(勤務先)へのコンテンツ管理の必要性の啓蒙
- ⑥ (投資対)効果の明確化

がベンダー側の注力すべき取り組み事項として浮かび上がる。特に①は、コンテンツ関連製品導入の重視点でも、「検索性」と並び「セキュリティ性」に次ぐ重視項目となっている。コンテンツ関連製品の活用の課題の上位に挙がる「コンテンツの分散・重複」や「コンテンツの管理ルール of 徹底」を解決するには、ベンダーによる情報共有ポリシーの策定支援、管理規定の構築・定着支援が重要になるだろう。

### 4. コンテンツ関連製品の導入状況／今後の導入意向

法規制の対応を背景に、従業員5000人以上の企業や金融業はコンテンツ管理基盤の整備が進んでいる。一方、従業員数500～1000人未満では「情報の効率的な共有」は重点テーマにはなるものの、コンテンツ関連製品各種への関心は従業員5000人以上に比べるとやや低め。特にナレッジ・マネジメントやコンテンツ管理ツールは従業員数500～1000人未満の導入意向は低く、まだまだ遠い存在という印象だ。

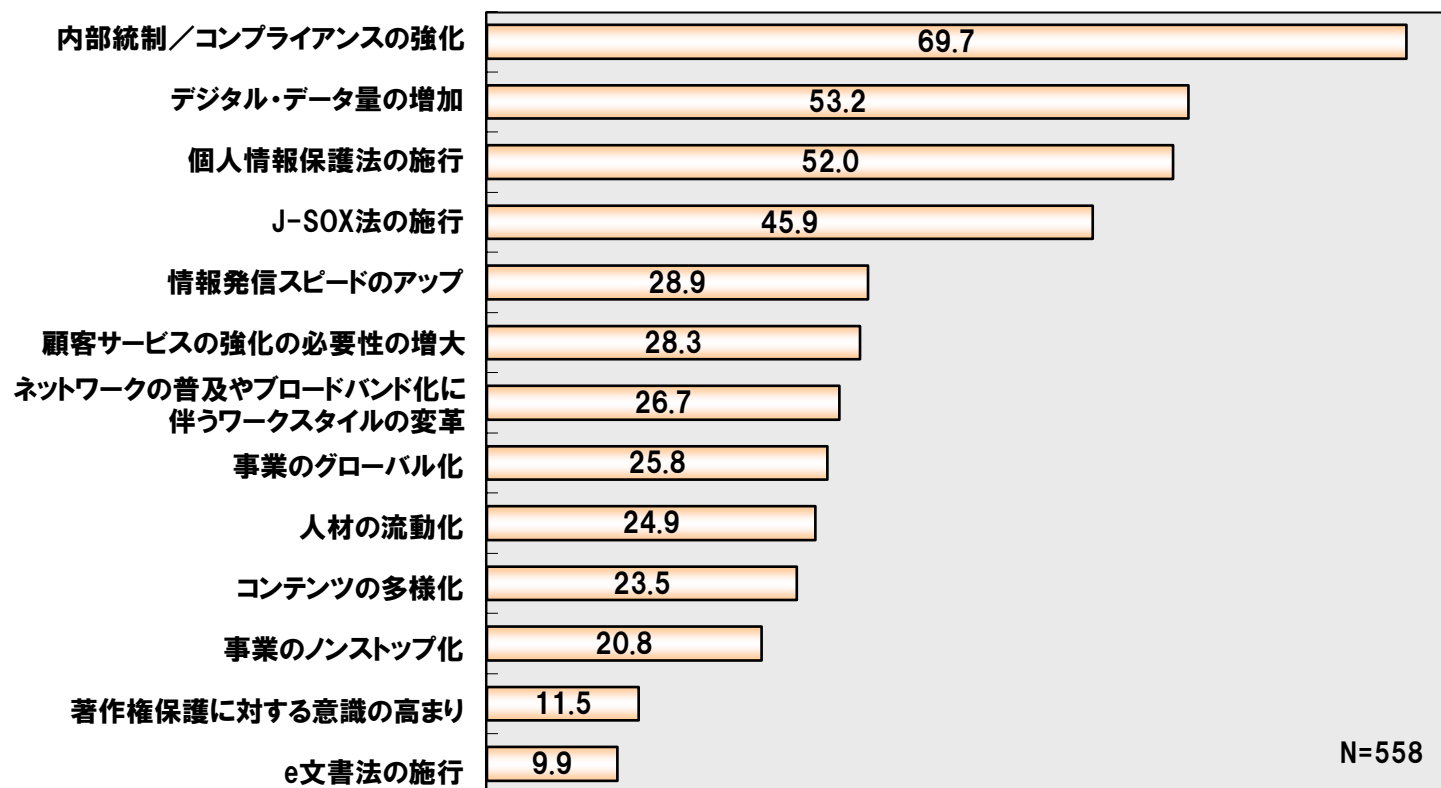
現在の導入率と今後の利用意向を比較すると、今後市場の成長が期待できるのは、「ナレッジ・マネジメント」と「文書管理ツール」。反対に市場の成長期待が低いのは、「帳票管理ツール」である。

**調査結果 詳細**

# コンテンツ管理が進む社会的背景・外部要因

J-SOX法を含め、内部統制に係わる項目が与える影響力が高い。  
加えて、デジタル・データ量の増加および  
個人情報保護法に基づくセキュリティの重要性も過半数となっている。

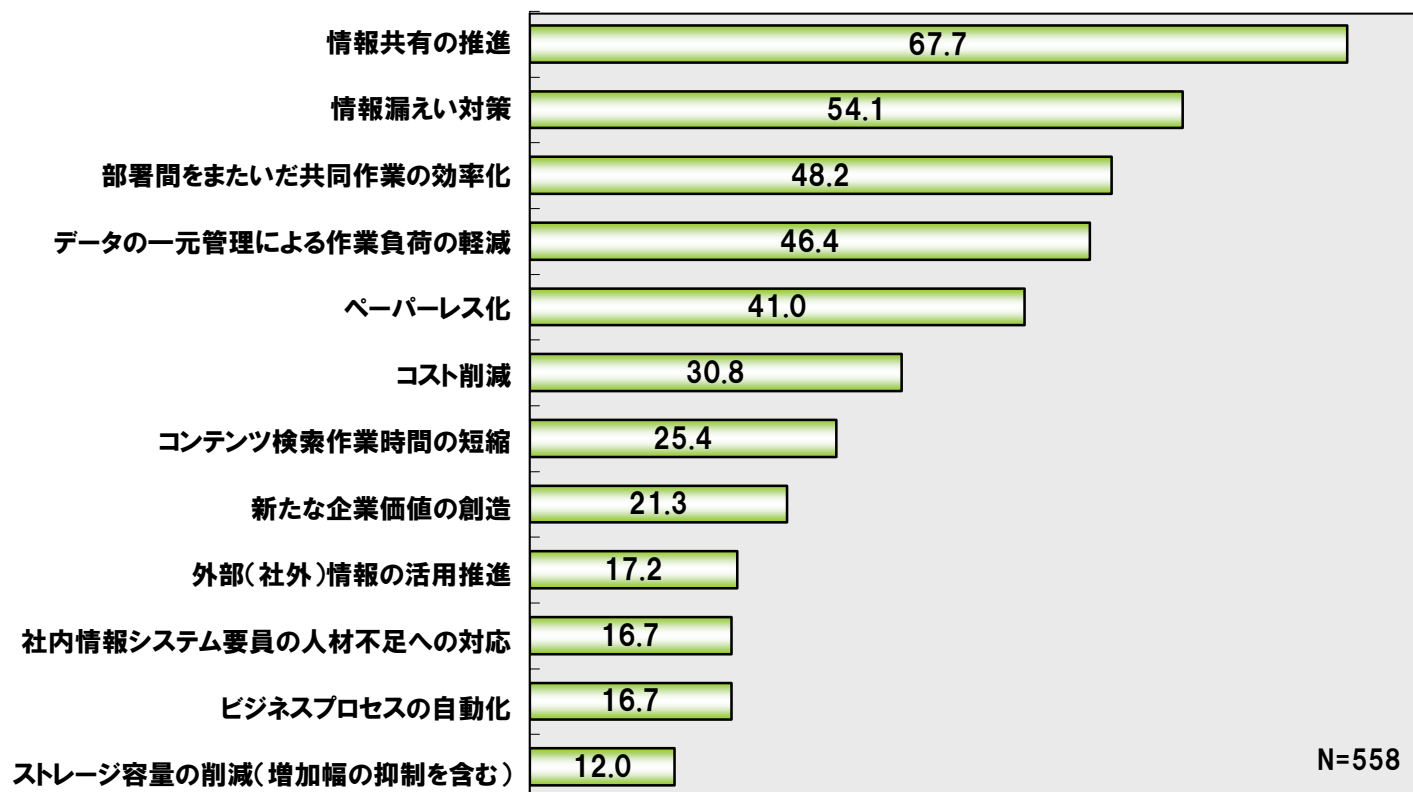
Q. コンテンツ管理の重要性が高まっている社会的背景・外部要因のうち、勤務先に影響を与えているものは？【複数回答】



# コンテンツ管理推進によるプラス効果

情報共有推進が約7割を占める。  
続いて、セキュリティ効果が過半数、  
効率化に関連する2項目も約5割の期待が集まった。

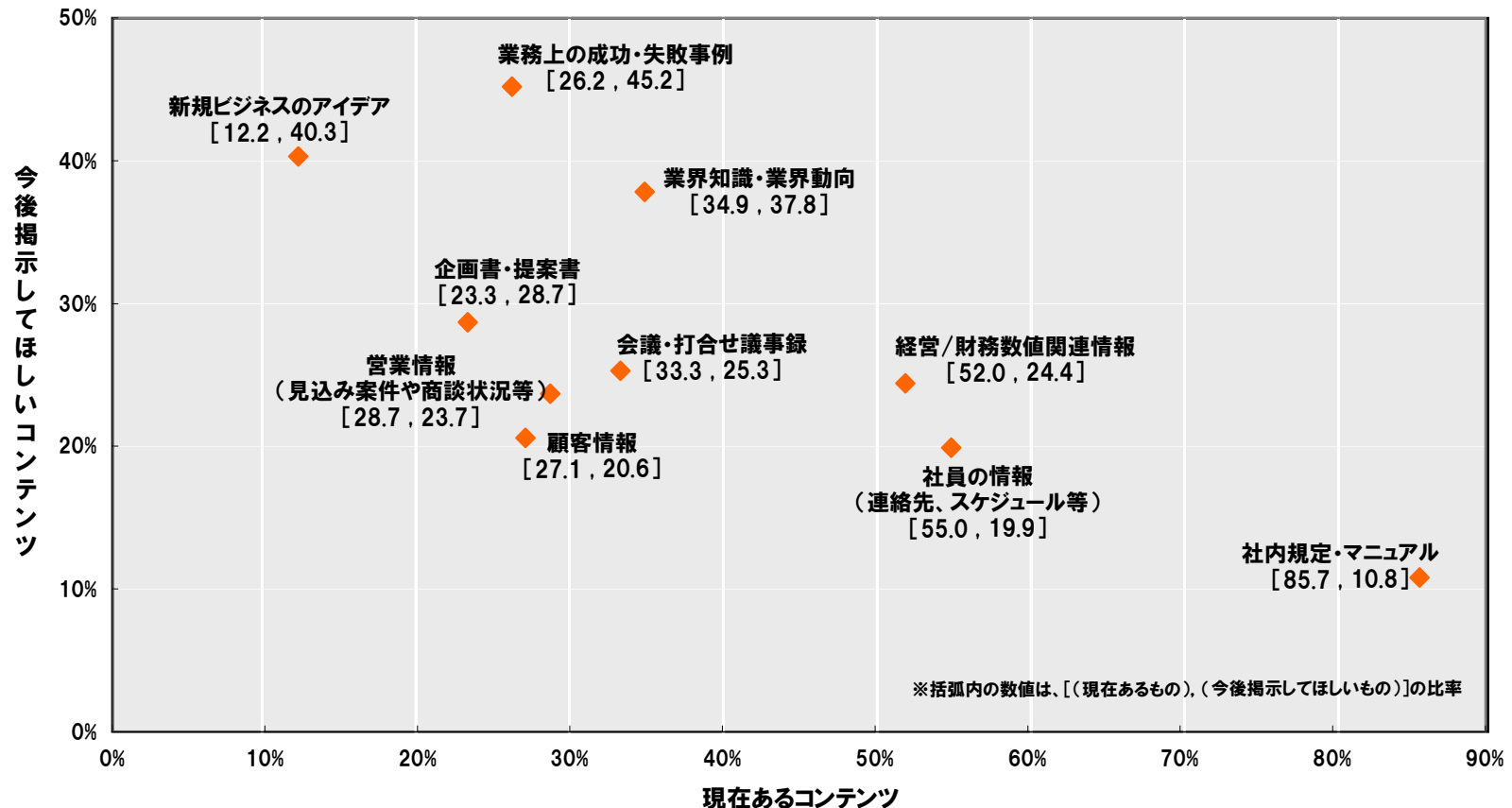
Q. コンテンツ管理を推進する場合、社内に与えるプラス効果として期待することは？【複数回答】



# 社内向けサイトに掲示するコンテンツ

現状と、掲示希望意向との乖離が大きいコンテンツは「新規ビジネスのアイデア」「業務上の成功・失敗事例」で、ともに掲示希望意向が現状より30ポイント近く上回っている。

Q. 勤務先の社内向けサイトに掲示するコンテンツとして、現在あるもの／今後掲示してほしいものは？【複数回答】

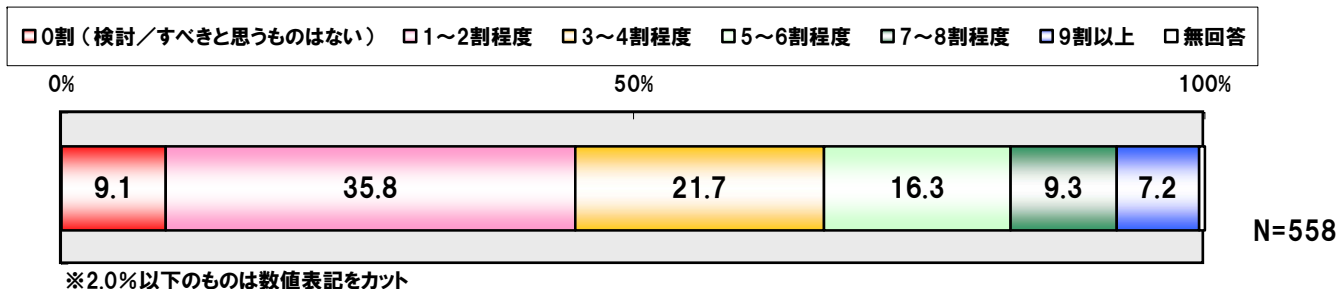


N=558

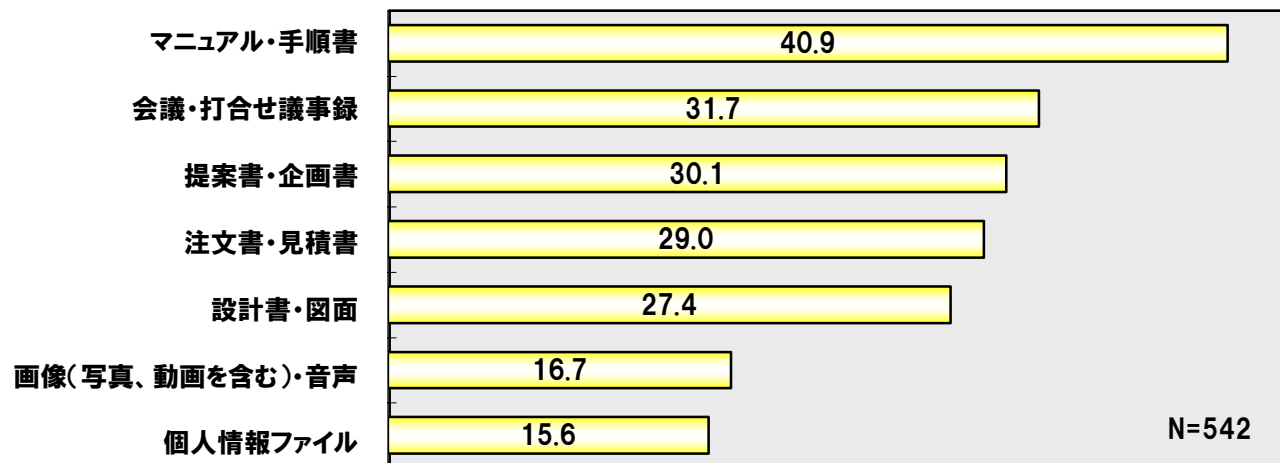
# デジタル化すべきコンテンツの割合／種類

デジタル化すべきと思うコンテンツの割合は、「4割程度以下」が67%を占める。  
 デジタル化検討コンテンツは、「マニュアル・手順書」が4割に上りトップ。  
 「会議・打合せ議事録」(32%)、「提案書・企画書」(31%)が僅差で続く。

Q. 部署管理の非デジタル化コンテンツのうち「デジタル化を検討」「デジタル化すべきもの」の割合は？【単一回答】



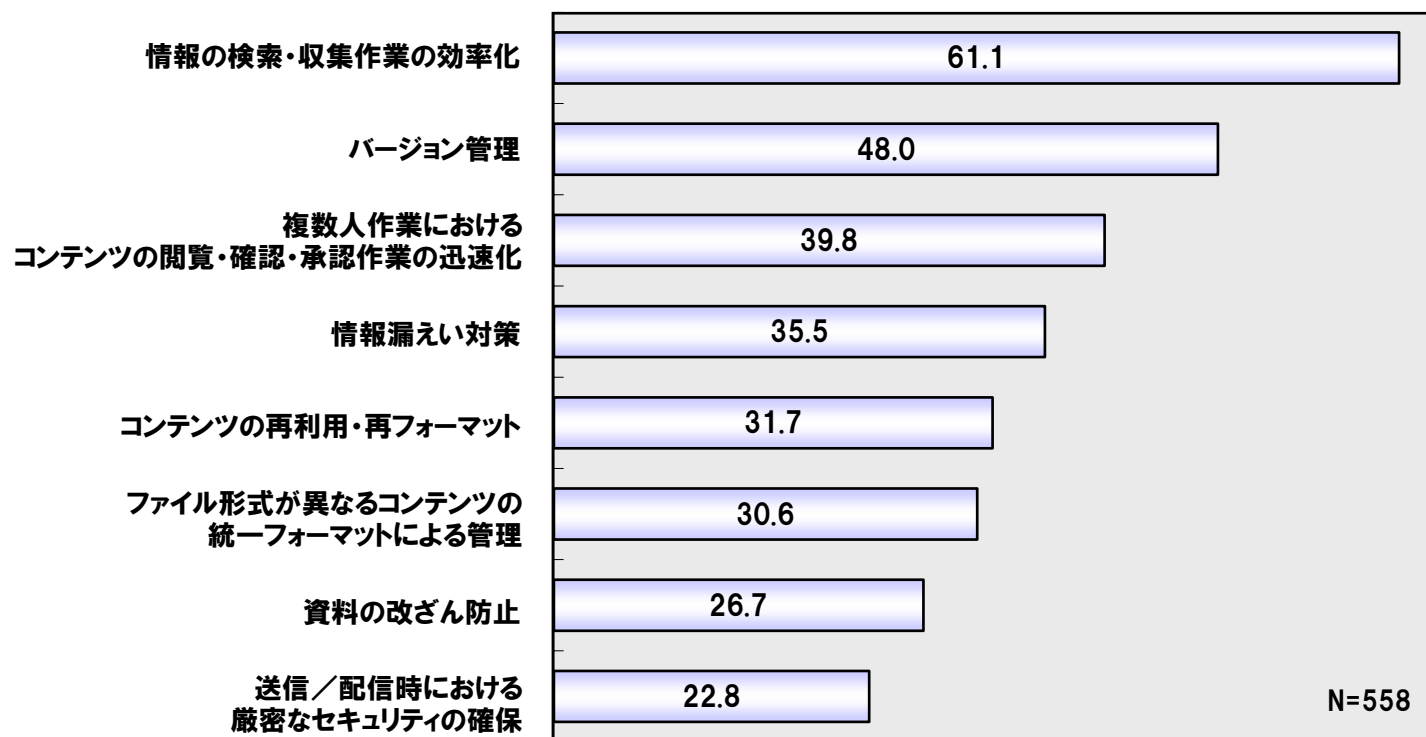
Q. 部署管理の非デジタル化コンテンツのうち「デジタル化を検討」「デジタル化すべきもの」は？【複数回答】



# コンテンツ作成・利用・管理の課題

「情報の検索・収集作業の効率化」が61%でトップ。「バージョン管理」(48%)、「複数人作業におけるコンテンツの閲覧・確認・承認作業の迅速化」(40%)が続く。

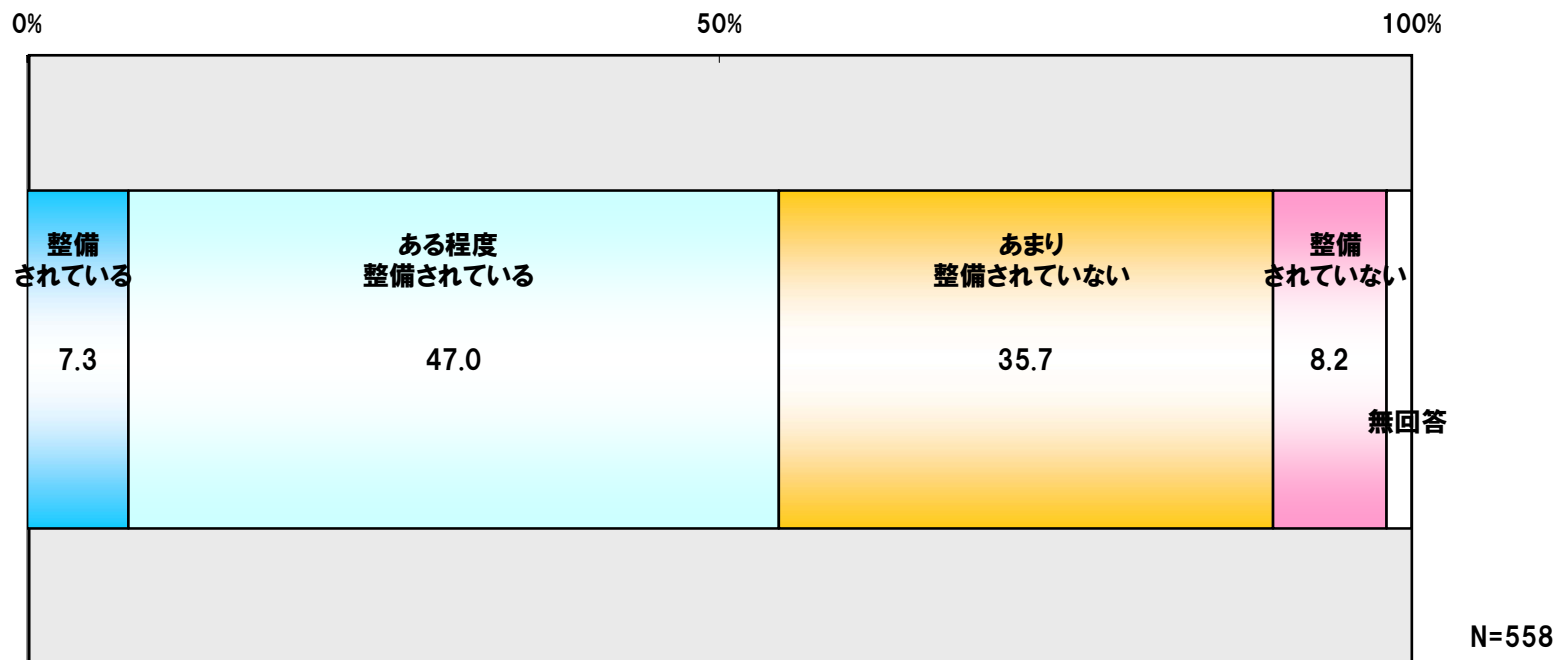
Q. コンテンツを作成・利用・管理する際の課題は？【複数回答】



# コンテンツ管理基盤 整備状況

整備派(「整備されている」+「ある程度整備されている」)が54%で、未整備派(「あまり整備されていない」+「整備されていない」)を約10ポイント上回った。

Q. 勤務先では「コンテンツ管理基盤」がどの程度整備されている？【単一回答】



※2.0%以下のものは数値表記をカット

# コンテンツ管理基盤製品 導入範囲

「グループウェア」は導入率が8割を超えた。  
 「文書管理ツール」「帳票管理ツール」「ワークフロー管理ツール」は導入率が5割程度。  
 「コンテンツ管理ツール」と「ナレッジ・マネジメント」は3割台にとどまった。

Q. 勤務先で導入している各分野のソフトウェア製品/ITソリューションの導入範囲は？【各単一回答】

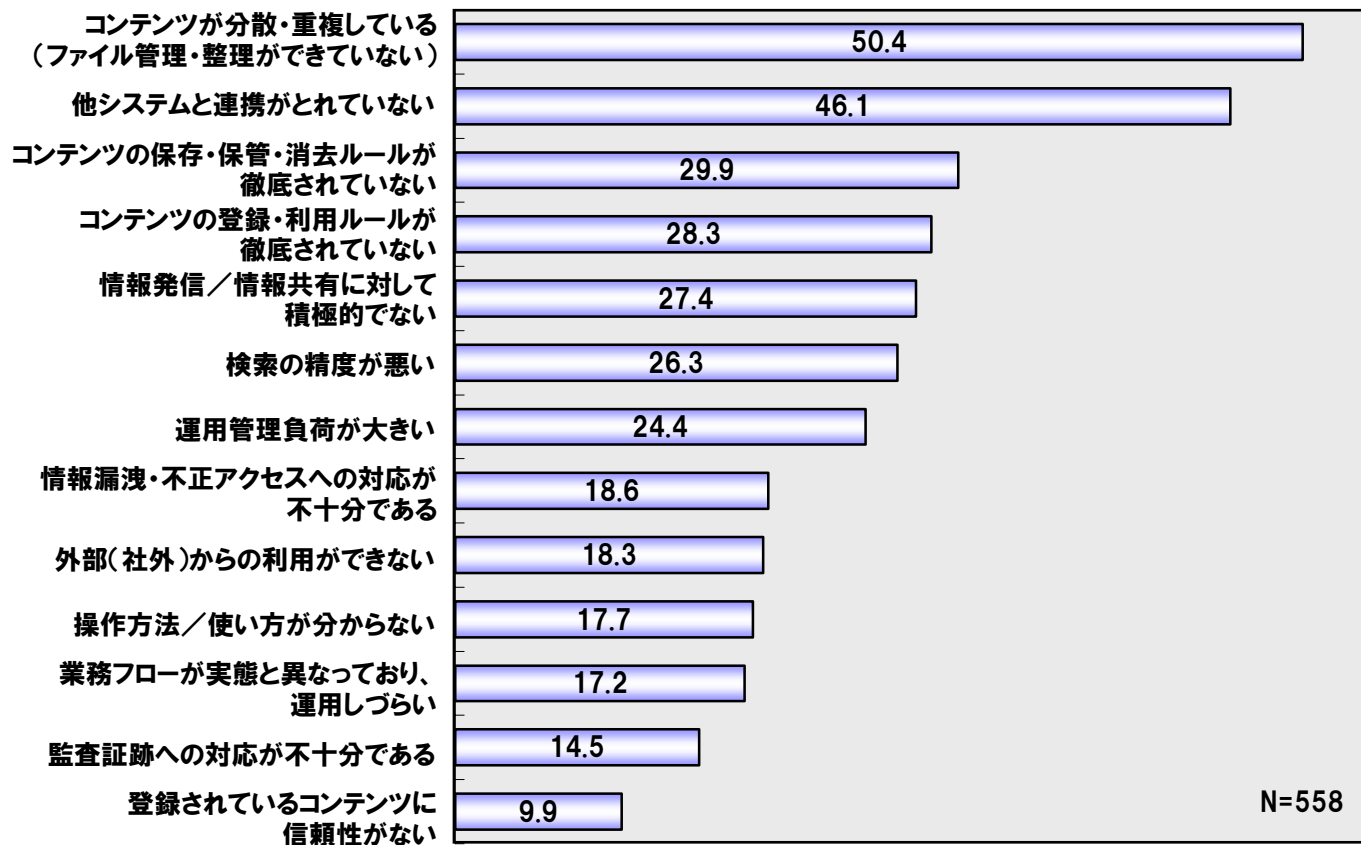


N=558

# 製品活用課題

「コンテンツが分散・重複している」が半数に上りトップ。  
「他システムと連携がとれていない」(46%)が続いた。

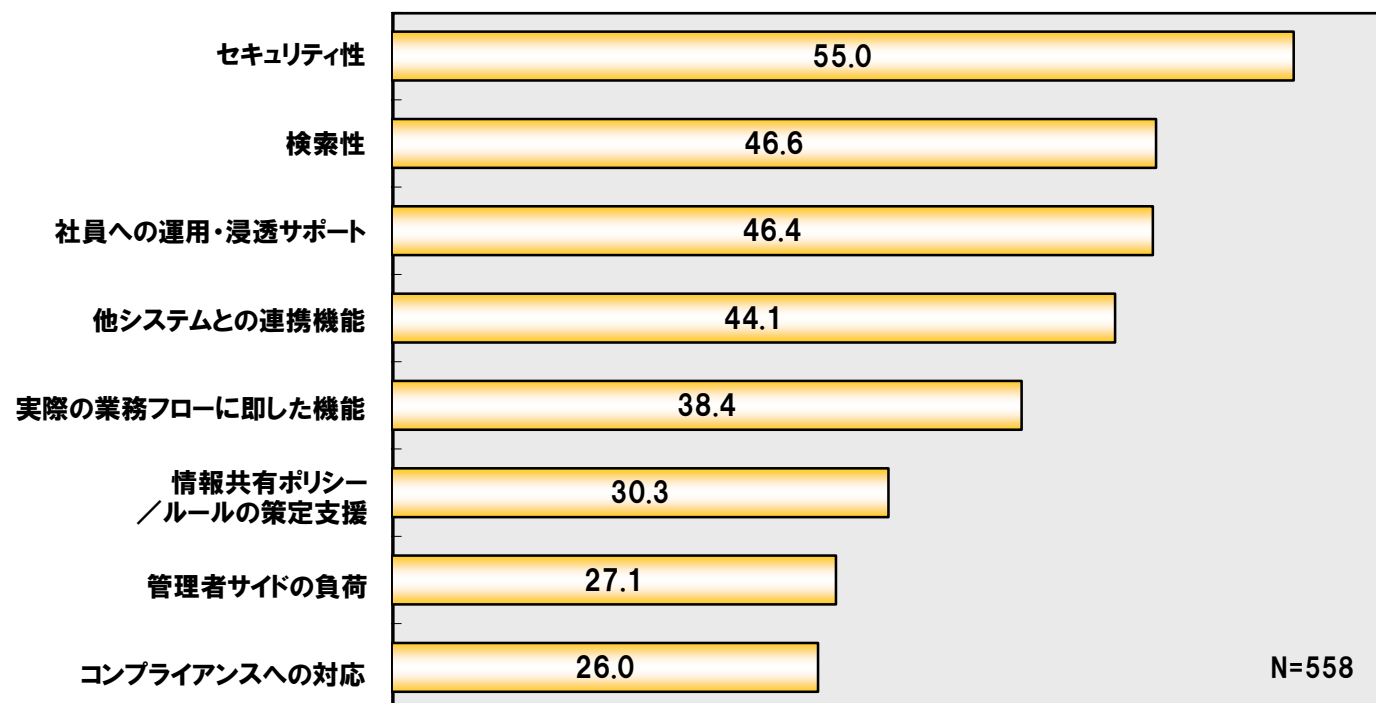
Q. 勤務先で、コンテンツ管理関連ソフトウェア製品／ITソリューションを活用する際の課題は？【複数回答】



## 今後の導入に向けた、製品の重視点

「セキュリティ性」(55%)がトップ。  
続いて、「検索性」(47%)、「社員への運用・浸透サポート」(46%)、  
「他システムとの連携機能」(44%)が並ぶ。

Q. 勤務先が、コンテンツ管理関連ソフトウェア製品／ITソリューションを今後導入する際の重視点は？【複数回答】



**NRI**

未来創発

**Dream up the future.**